



平成 28 年 11 月 2 日

各 位

上場会社名 株式会社 博 展  
 (コード番号：2173 東証 JASDAQ)  
 本 社 所 在 地 東京都中央区築地一丁目 13 番 14 号  
 代 表 者 代表取締役社長 田口徳久  
 問 合 せ 先 取締役経営本部長 玉井 昭  
 電 話 番 号 03 (6278) 0010

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 12 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想数値の修正

平成 29 年 3 月期 第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	4,139	42	40	24	6 円 43 銭
今回修正予想 (B)	3,977	△246	△251	△185	△48 円 50 銭
増減額 (B - A)	△162	△288	△291	△209	
増減率 (%)	△3.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	3,728	35	33	15	4 円 24 銭

平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	9,400	220	210	125	33 円 70 銭
今回修正予想 (B)	9,400	120	110	70	18 円 26 銭
増減額 (B - A)	—	△100	△100	△55	
増減率 (%)	—	△45.5	△47.6	△44.0	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	8,088	170	161	97	26 円 33 銭

# NEWS RELEASE

平成 29 年 3 月期 第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正

（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	3,918	78	75	49	13 円 36 銭
今回修正予想（B）	3,687	△82	△87	△63	△16 円 52 銭
増減額（B－A）	△231	△160	△162	△112	
増減率（％）	△5.9	－	－	－	
（ご参考）前期実績 （平成 28 年 3 月期第 2 四半期）	3,463	89	86	55	15 円 13 銭

平成 29 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正

（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	8,649	243	234	155	41 円 64 銭
今回修正予想（B）	8,649	200	190	127	33 円 13 銭
増減額（B－A）	－	△43	△44	△28	
増減率（％）	－	△17.7	△18.8	△18.1	
（ご参考）前期実績 （平成 28 年 3 月期）	7,449	235	227	150	40 円 70 銭

## 2. 修正の理由

### （1）第 2 四半期累計期間業績予想修正の理由

当社グループにおける当第 2 四半期累計期間の連結売上高につきましては、人と人が出会う場における新たな体験価値をリアルとデジタルの融合によって創出し、クライアントの売上拡大やブランド価値向上に繋げる手法や施策の提供を引き続き推進してまいりました結果、前年同期比 6.7% の増収見込みとなりました。しかしながら、景気の先行き不透明感による弱含みな経済環境の中で、当社グループの主力事業である展示会事業市場においては出展規模の見直し等が見られはじめるとともに、異業種からの新規参入増加など受注獲得競争環境が厳しさを増してきた結果、期初の計画には未達となる 39 億 77 百万円となる見通しとなりました。

連結営業利益につきましては、クライアントの多様化する課題や難易度の高い大規模案件等に応えるために必要な専門スキルを持つ人材の獲得費用や複雑化するプロジェクトの進行管理費用、拡大する業容に対応するためのオフィス環境整備費用、次世代型マーケティング&コミュニケーションのための AI・コグニティブ投資関連費用、新たな事業領域への挑戦のための戦略的 M&A 関連費用などの先行投資コストが増加したことにより、当第 2 四半期累計期間ではこれらの増加コストを吸収することができず、連結営業損失 2 億 46 百万円となる見通しとなりました。

また、当第 2 四半期累計期間の個別業績につきましては、イベント・展示会市場における競争環境変化に伴うコンペ案件の増加、多様化・大規模化するプロジェクトの管理コストや拡大する業容に対する先行投資の増加等により、売上高・営業利益ともに予想を下回る見込みとなりました。

# NEWS RELEASE

## (2) 通期業績予想修正の理由

当社グループにおける通期連結売上高につきましては、当初予想より変更はございません。連結営業利益につきましては、(1) 第2四半期累計期間業績予想修正の理由に記載のとおり、当初計画を下回って推移したことにより1億20百万円、連結経常利益につきましては1億10百万円、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては70百万円と予想を下回る見込みとなりました。

また、平成29年3月期通期個別業績につきましても、当初計画を下回って推移したことにより予想を下回る見込みとなりました。

なお、配当予想につきましては、前回予想（期末14円）から変更しておりません。

※今回の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上